

## <開催概要>

- ・日 時：令和5年6月13日（火）午後3時00分～午後5時30分まで
- ・会 場：鯖江市役所 4階 全員協議会室

### 1. 開会

### 2. 委員委嘱

### 3. 市長あいさつ

市長	<ul style="list-style-type: none"><li>・第1回鯖江市総合戦略推進会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</li><li>・皆様には公私ともに大変お忙しい中、こうして推進会議の委員を引き受けていただき、深くお礼を申し上げます。今回は昨年までの委員の皆様13名と新たに12名の皆様にご就任をいただき、合計25人の推進会議となった。本日から令和7年3月31日まで2年間の任期となる。よろしくお願い申し上げます。</li><li>・鯖江市では、少子・高齢化社会の進展や県外への若者流出による人口減少問題に対応し、活力ある地域社会を創造することを目的として、平成27年10月に鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。現在は令和元年度の改訂を経て、第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間中である。本計画は、世界のめがねの聖地 SABAE の確立、これをコンセプトに、地域資源を最大限に活用することにより、地域のブランド力を高め、魅力ある雇用を創出し、若者が住みたくなる、住み続けたくなるまち、そして誰もが安心して快適に暮らせるまちになることを目標としている。鯖江市には他の自治体に負けない、めがね、繊維、漆器に代表されるものづくり産業、そして市民主役のまちづくり、またオープンデータの活用、SDG s の推進など数多くの先進的な取組がある。そして豊かな自然、歴史、伝統、文化、世界に誇れる宝が集積している。第2期総合戦略では、めがねに象徴されるこれらの誇るべき宝を積極的にプロモーションし、めがねのまち鯖江の知名度を全国的なものにするなど、一定の成果があったと確信をしている。しかし、微増傾向にあった鯖江市の人口も平成31年度をピークに減少傾向に転じ、いよいよ本市も全国的な人口減少の波を受け始めた。また国の方も、近年はテレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢の変化を受け、技術革新の目覚ましいデジタル力を活用し、全国どこでも誰もが快適で便利に暮らせる社会を目指し、デジタル田園都市国家構想総合戦略を策定された。こうした社会情勢の変化を受け、本市が将来にわたり発展をし続けられるよう、今年度は令和6年度までの計画期間中ではあるが、総合戦略の充実・強化を図り、国の策定する計画との連携を勘案し、継続して人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、総合戦略の改定を行いたいと考えている。また地域の目指すべき将来像を中長期的に構想し、地域特性を活かしたまちづくりを推進し、総合戦略の策定の指針とするため、本年度は鯖江市将来ビジョンの策定も併せて行う予定である。25名の</li></ul>
----	--

	委員の皆様には、限られた時間の中でご苦勞をおかけするが、市民の目線、生活者の視点、また専門的な立場からご意見を賜り、ご答申を賜りたい。何卒よろしくお願ひ申し上げる。
--	--

#### 4. 市長諮問

#### 5. 議事

##### (1) 総合戦略改定および将来ビジョンの策定について

資料2、3を事務局より説明

委員1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画は最上位の計画と言われているが、今回は総合戦略が最上位計画という位置付けで良かったか。</li> <li>・将来ビジョンについて、今までの人口ビジョンだと長いスパンで人口シミュレーションをしていたが、今回はやらないということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略が最上位計画であることに変わりない。将来ビジョンは、中長期的に今後のまちづくりを示す羅針盤と位置付ける。</li> <li>・人口ビジョンについては、今回は特段訂正を考えていない。</li> </ul>
委員1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の推計、シミュレーションは行うのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社人研が出したものに対してということか。</li> </ul>
委員1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの総合戦略は、長期人口ビジョンとして人口が大きな目標になっていた。今回のビジョンにそれは位置付けないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は手をつける予定はない。</li> </ul>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来ビジョンについて、委員が一人ずつ意見を出すのか、それともビジョンは決まっていてその実現のためのアドバンスを委員が行うのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から、鯖江市の長期的なビジョンがみえないと意見をいただいている。総合戦略は短期5年間で具体的な事業を記載する計画であるが、将来ビジョンはそれぞれの地域のまちづくりの方向性を示していきたい。</li> <li>・将来ビジョンについて、委員が色々な意見を言うイメージはない。</li> </ul>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば「日本酒のまち」にしようという人もいるかもしれない。個人的には「超デジタル」にするビジョンも良いと思う。何かと特徴をつけて、鯖江のまちは面白い、楽しいと思ってほしい。ただ、それを委員一人ずつこうしたいいビジョンを提案しても、誰がまとめるのか、決めるのかのイメージができない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来ビジョンにおいて進めたいのは、各地域にお住まいの方に愛着や、将来望むまちの姿を聞き、まちづくりの方向性を決めること。委員のおっしゃるようなとがった取組をビジョンの中で具体的に示せるか分からないが、そのような意見あればそれを踏まえて事務局案を提示する。事務局案に対して、委員からご意見をいただき、推進会議の中で方向性を決めていきたい。</li> </ul>
委員2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりとがったビジョンは求めているということか。</li> </ul>
委員3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートで市民の意見を聞くことは大事だが、結果をそのまま反映するとあり</li> </ul>

	<p>きたりなものになってしまう。それであれば、福野委員がおっしゃったようにメンバーの知見を活かしてある程度特色を出していくのが重要だと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖江らしさを計画に盛り込んでいきたいということか。</li> </ul>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その通りです。前回計画も「世界」というワードをわざわざつけた。とがらせるといふ言い方でいいのか分からないが、ある程度とがらせることが重要だと思う。</li> </ul>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルは全てを繋げるツールであると認識している。</li> <li>・将来ビジョンおよび総合戦略は、今鯖江市にお住まいの方を対象とするのか、それとも市外にお住まいの方を対象とするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらかではなく、両にらみになる。鯖江市に住み続けていただくこと、鯖江市に興味を持って移住していただくことも将来ビジョンあるいは総合戦略の中で明記すべきだと考える。</li> </ul>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の理解についても発言させていただきたい。</li> <li>・将来の展望として、デジタルを切り口に色々な変化が起こるだろうと予測されているが、この全てに取り組むことは難しい。そこで鯖江らしさが重要になる。とがる、とがらないというより、鯖江らしさをより伸ばしていくことに、このビジョンは役に立つと思う。鯖江が得意とするめがねや伝統工芸、日本酒など色々なものを世界に発信していくために、デジタルの活用が武器になる。市民が幸せを感じる生活環境を作っていくために、デジタルは重要なツールになる。その上で、我々がどのような方針を打ち出せるのか。市長が一人で決められることではない。ここに集められた委員はそれぞれの分野の市民代表です。その意識を持って、この委員会でしっかり意見を出していただきたい。既に活発なご意見をいただき、この会議の成功を期待しています。</li> <li>・アンケートの意見を平均的に吸い上げても意味がないし、市役所の方もそのつもりではない。市民の方全員に発言のチャンスをつくり、市民みんなが参加して作ったという意識を持つことによって、ビジョンも成功するだろうと私は想像している。</li> <li>・この会議は、我々が話す内容全部が反映されるものではないが、方向性を左右する大事な会議。今のように活発に市民代表のみなさんの意見をいただきたい。</li> </ul>

## (2) 鯖江市政に関する市民アンケートについて

資料4を事務局より説明

委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 ページ目の重点施策のアンケート項目ですが、(1) 女性が活躍しやすいまちづくりに書いてある内容が抽象的すぎて「分からない」としか回答できないのではないかと。具体的に何をしたのかが分からない。</li> <li>・ 例えば (4) 鯖江ならではのものづくりであれば、若者に魅力ある雇用の創出に取り組んだのだと分かる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精査する。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した」と問にあるが、総合戦略を知っているかをまず聞いたほうがいい。</li> <li>・ (インターネット上で) 検索すると、策定会議の PDF、策定した PDF しかない。何をやってきたかが記載されていないので、その対応の話をされても答えられない。まず市役所職員 1,000 人に実施してみてもどうか。</li> <li>・ 膨大な施策を市民に聞くのであれば、どの事業をどうやって結果どうだったのか、全部まとまっている資料があれば答えられるのではないかと。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (事業の整理については) 市の現状として出来ておらず、(即座の対応は) ハードルが高いと感じる。</li> <li>・ 総合戦略の知名度についての設問の追加は、説明責任を果たす中で市民の方にきちんと情報をお届けしていく入り口としては非常に大事だと感じた。参考にしたい。</li> </ul>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 ページ目の個人情報について、年齢の設問で 70 歳以上になっているが、多くの方が該当するのではないかと。80 歳以上の選択肢を設けるのはどうか。</li> <li>・ 問 4 のところで、私の場合はもともと国外から来ているが、その前は県外に住んでいたもので、どちらになるのか分からなかった。明確にしたほうが良い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問 4 については、問に「直近のところ」などを入れて対応したい。</li> <li>・ 年齢、年代については、今回無作為で 1,000 名抽出すると説明したが、実は各年齢層ごとに人口のバランスをみてアンケート対象数を選んでおり、16～19 歳 60 名、20～29 歳 156 名、30～39 歳 158 名、40～49 歳 156 名、50～59 歳 156 名、60～69 歳 154 名、最後に 70 歳以上 160 名を抽出しており、70 歳以上の一つのくくりで対象を抽出している。そのためこのような年齢構成(選択肢)にしており、75 歳以上などの選択肢を設けたとしても実際の母体数を事務局として把握できていないところもあり、今回は無作為抽出の 70 歳以上のこの選択肢にさせていただきたいと考えている。</li> </ul>
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このような総合戦略会議があったというのをほとんど知らなかった。私の立場で知らないということは、ほとんどの市民が知らないのではないかとと思う。</li> <li>・ 年齢制限については事務局の通りが良いと思うが、職業については、会社員と団体職員、教員と公務員は分けていただきたい。</li> <li>・ (アンケートの) 中身については、福野委員からあったように、いきなり市民の方に(この調査票を)渡すと大変驚かれるのではないかとと思う。私が知らない内容が</li> </ul>

	<p>3分の1ほどあったので、市民の方は知らないのではないかと心配になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7ページの問14について、私の年齢以上の方で、例えば情報収集は週刊文春だけという方もいる。機器に限定する必要はないのではないかと思った。</li> <li>・ 先ほど竹部委員からあったように、いきなり一番目の内容が難しい。またこのような難しい言葉の内容で良いのか、もう一度考えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な職業については、そのように振り分けさせていただく。</li> <li>・ 7ページ問14については、デジタルの推進状況に特化した設問ですが、ご意見を踏まえて設問を工夫したい。</li> <li>・ 2ページ目以降の取組の説明書きが分かりにくいという点については、市民の方が読んで理解できるようにしていきたい。</li> </ul>
委員1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの総合戦略を改訂するという作業の中で、人口にある程度目を向ける必要があるのかなと思う。特にデジタルという言葉が入っていると思うが、コロナ禍の中でデジタル化が進み、学校でもオンラインが進んできた。人々の行動や住まいの選び方も変わってきている。社会増減、出生率の低下などを聞けるタイミングとして、今がチャンスだと感じる。そこを落ととしても良いのか気になる。</li> <li>・ 1,000人という非常に少ないアンケート調査で16歳以上となると、若い人に行く調査票がととも少ない。地区別になると各地区数人になる。できれば若い人向けの移住・定住や子育て関係の調査あったほうが良いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象1,000名については、説明したとおり。ただ、総合戦略・将来ビジョンを策定するにあたって、これだけの方だけの意見で進めるのは乱暴だと思っている。各地区に入り各地区の方々からご意見をいただくことが必要。</li> <li>・ また、委員のご意見の通り、若い方々からご意見をいただくことも必要。JK課など鯖江市の特徴的な取組を通して、若い方々からご意見をいただく方法を考えたい。</li> <li>・ またWEBなどを用いて不特定の方から回答をいただくなどについても、今後考えたい。</li> </ul>
委員3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペースあれば自由記入欄があると良い。</li> </ul>
委員6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3ページの(2)既存産業の高度化について、高度化プラス活性化だと思うのですが、せっかく「めがねのまち鯖江」が定着し有名になってきているのだから、めがねを中心としたものづくり、めがね、漆器、繊維について、それぞれきちんとがんばっていることが分かる表現にして欲しい。例えばめがね産業は～、漆器産業は～、繊維産業は～、その他は～、と分けても良いのではないか。既存産業でというだけでは分かりにくい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討する。</li> </ul>
委員7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この(現行の総合戦略の)冊子自体が市民の方に配られたのかどうかと、情報が公開されているのかどうかを知りたい。前委員会において「世界のめがねの聖地SABAE」というサブタイトルをつけていただいたということを眼鏡協会として知らなかった。せっかくつけていただいたので、例えば今「めがねのまち鯖江」といつているが、そこを「世界のめがねのまち鯖江」に言い直していくなど、何か活動をしていかないと、広まらないと思った。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 ページ目の目標 5 世界のめがねの聖地 SABAE の確立に向けた組織強化について聞いているが、答えられないと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合戦略のこのような冊子を大量につくることはできないので、基本的に市民の方々に対しては、市のホームページで公開し、また策定や改定などのタイミングで議会への説明も行っている。情報が行き届いてないのは反省材料と思っている。</li> <li>・ アンケートの内容については、できる限り分かりやすいように表現したい。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートは定点観測に意味があり、少なくとも年に 1 回できたらいいと思う。今回のアンケートでいくらかかるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に郵送料となっている。今回はコンサルタント会社が入って計画策定とアンケート調査がセットになっているが、昨年度も 1,000 人無作為抽出で実施している。その際は全部内省で実施した。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郵送だとなかなか気軽に行うのは難しいと思うので、デジタルをちゃんと活用して実施した方が良い。お年寄りの人たちには中々回答してもらいづらいと思うが、各地区の何人かが対象だと思うので、回ってもいいのではないかと。回覧版を回して QR コードを読んで答えてくださいとか、そのような形でもできるのではないかと。配布・回答方法の工夫があると良い。</li> <li>・ 若い人の意見を聞くべきだと思っている。学校関係の委員の方の協力を得て、中学生、高校生に、タブレットを用いて回答してもらえば良いのではないかと。このアンケートの内容を全部やるかはともかく、少しでも策定に関わっていると感じてもらうことが大事ではないかと。今後中学生が 5 年経つといなくなる（転出する）可能性が高い。鯖江に残りたい、帰りたい、と思えるようになると素敵だなと思う。</li> </ul>
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うちの小学校なのですが、実際にタブレット上で学校内のアンケートは答えているので、可能だと思う。子どもたちや若い人たちにとっては、紙よりもタブレットなどの方が簡単でより手短かにできるのではないかと。</li> </ul>
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鯖江高校ももちろん可能。</li> </ul>
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今、福井県観光連盟で、県内の 90 箇所アンケートをとっている。このアンケートはプライバシーを侵害しないという前提で、オープンデータにしている。オープンデータにすることで誰もが解析できる。今回も県と同じようにオープンデータ化して集めれば、例えば中学校、高校で鯖江の人はどう考えているのだろうと、勉強に使える。ぜひオープンデータのまちとしてやっていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定点観測は重要な視点なので、今後、研究していきたい。若者の意見の収集方法については、福野委員のご意見のような方法もあると思うので検討したい。また、子どもたちが自分の未来を考えていただくような意味合いでもアンケートは有効なのかと思う。</li> <li>・ デジタル活用という点で、オープンデータというお話をいただいたが、市としてその辺りが弱いところもあるため、ご指導いただきながら進めていきたい。</li> <li>・ プライバシーについては、今回のアンケートでは配慮しながら進めているが、今後ネットなどで実施する場合でも配慮していくことで、様々な年代の方からご意見いただけるのではないかと。今後事務局で検討する。</li> </ul>
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートは紙じゃないといけないのか。</li> </ul>

事務局	・特に決まりはない。
委員 6	・うちの業界はもう紙を使わない。紙は要らないのではないか。会合でQRコードを読んで実施するのであれば、1,000人にこだわらなくてよいと思う。アンケートに答えることによって、何かしらメリット、何か情報を得られるようになっていると良いと思う。
事務局	・アンケートには色んな手法があると思う。今回総合戦略のアンケートについては年齢構成や地区とか、ある程度固定の母体数の中で統計を取るという目的も合わせて持ち合わせている。このアンケートを実施しつつ、他の媒体などを用いて母体数を増やしていくという形では進めていけると考えている。
委員 6	・商工会議所では世界に誇るめがねを中心としためがね、漆器、繊維のものづくりのまち鯖江と標榜してがんばってやってきた。これを捨てる必要性はない。今の総合戦略にもっと肉付けをして、次のステップでこれができあがってくるのならば、まだ発展途上だと思う。めがね、漆器、繊維、この3つはぜひいれていただきたい。
委員 10	・7ページのエリアについて、先ほど田園エリアを西と東に分けたとお話したが、16歳からアンケートを取るの、16歳だと小中学校区域のことしか分からないと思う。鯖江市全体を聞かれても分からないと思うので、せめて地区名を詳細に書くか、①②のように③④も町名とかを記載してはどうか。
事務局	・検討する。
委員 11	・無作為に出すと、自分がどの地区に住んでいるのか分からない人もいる。例えば子どもがいなくて赴任してきたような人。(調査票を)もらった人の立場のことを考えてもらえると良い。
事務局	・アンケートは封書で送らせていただくので、宛名書きのところに地区を明記することが考えられる。アンケートの中はご自分で書いていただく部分なので、宛名などで対応するか、事務局で検討する。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの目的とか市民の参加意識を高めるということに関していうと、自由記述回答欄はある方が良い。この難しい政策について聞かれて必死で答えてくれたとしても、自分がこの計画の策定に参加した意識は生まれにくいと思う。設問に入っていない意見について書いてもらってはどうか。(集計が)大変ということであれば、デジタルというキーワードも出ている中で、紙で記載いただいたものを読み込むことが可能になっていると思う。また、テキストマイニングなどを使えばキーワードなどがでてくるようなものもある。そういった色んな方法をコンサルタントにも相談してはどうか。</li> <li>・総合戦略の知名度に関しては、一朝一夕にはいかないが、広報誌などを用いて、総合戦略に関する記事を、例えば女性活躍に関して、インタビューや対談などの記事を見ていただいた後で答えてもらうと回答しやすくなるのではないかと。</li> <li>・グリーンとブルー、満足度と重要度、この順序になっている理由はあるか。</li> </ul>
事務局	・特に理由はない。
委員 5	・回答者の立場を考えると、重要度を先に聞いたほうが良い。先に満足度を答えるとその回答に引きずられるのではないかと個人的には思う。

### (3) 今後のスケジュール

資料5を事務局より説明

委員1	・8月、12月の帰省の時期は、鯖江出身の市外へ出た人から意見をいただく絶好の機会ではないか。ご検討いただきたい。
事務局	・検討する。

### (4) その他

委員12	・人口減少について、他の市町から鯖江に人を呼べば良いという問題ではないと思う。福井県全体、日本全体が人口減少について何かできることがあるのではないかとこの中に入れていただきたい。
委員13	・市民全体に行き渡るようなものになるのかという疑問がある。デジタルという言葉が多用されているが、デジタルにもメリット・デメリットがある。赤ちゃんから寝たきりのお年寄りまで鯖江市民なので、みんなで考えられるまちづくり、戦略になると良い。
委員8	・学校としては、鯖江市の基本計画に基づき、特にふるさと鯖江に愛着をもつ子ども育成という点を主に行っている。それをこの総合戦略の中にどう盛り込んでいくかを考えるのが私の役目だと感じた。
委員2	・中高生からのアンケート結果が楽しみ。
委員14	・前回のアンケートの回収率が50%ということで、今回も回収率が上がらない場合どうするのか気になる。
委員15	・まさに市民の代表的な立場で、正直なところ総合戦略について知らなかった。区長会連合会の中で、各10地区の区長会長の意見を聞き、こちらに反映したい。
委員16	・自分たちの産地を盛り上げたい気持ちは常にあるが、なかなか鯖江市が良くなるためとは思っていない。この委員会を通して鯖江のため、漆器のため、産地のためと思いながら進めていきたい。
委員17	・この戦略を知らなかったので、これからビジョンを考えていく上で、私自身も色々理解を深めないといけないなと思った。素晴らしい施策をいただいていると思うので、あわせて市民のみなさんにも知ってもらい、理解してもらい、理解してもらうことができるように努めていきたい。
18委員	・若い子がこういうことを知るチャンスがあると良いと思う。若い子たちの意見が分かりやすいアンケートで分かると思う。
委員7	・デジタルを活用して情報を迅速に市民の方に伝えていくことで、この委員会のことも伝わっていくと思う。前回の委員会で素晴らしいまとめをされているので、それを発展させていく、継続していければ良い。
委員6	・めがね、漆器、繊維、そしてものづくり、まちづくりをがんばっている鯖江だと発信するためにデジタルを使っていければ良い。 ・アンケートの中で、((20)において) 職員の資質向上について聞いているが、職員



	<p>の資質に満足かどうかだけで良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日は色々なことを聞かせていただいたが、みなさんの意見をまちづくりというよりもこれが一里塚になれるよう、いままでのものを発展できるような会にしていきたい。</li> </ul>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートですが、市の人だけでやってとは思ってなくて、一緒にやっていくことだと思う。WEB で回答できるアンケートなら、SNS を用いて協力をお願いすることもできるので、ここにいる人たちみんなにご協力くださいと言ってもらって、URL とか送っていただければやりますから、一緒にやっていければ良い。</li> </ul>
委員 1 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江高校では、特に地域と連携した探究活動に力を入れている。その中で生徒が培った地域の魅力の発信の力を今後の鯖江市に活かしていきたい。</li> </ul>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の計画は、鯖江市の人口減少がついに始まった中で初めてつくる計画。それだけの気概を持って取り組まないといけないと思っているので、その目線でこれからも意見していきたい。</li> </ul>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>うちの店で総合戦略の冊子を置いているが、これを見ている人は2人ぐらいしか見たことがない。どうしてっていうとやっぱり難しい。今度の鯖江市将来ビジョンは、もうちょっと誰でもさっと見られるようになると良い。</li> </ul>
委員 2 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域が広すぎてアドバイスを求められても正直難しい。この会議で3回目になるが、この1年で何かひとつでも成果物が高めるようなことができると良い。</li> </ul>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>せっかく「世界」というパワフルなワードが入っているにも関わらず、これまでの国際交流や外国人目線を取り入れた取組は、私が知らないだけかもしれないが、あまりない。商工会議所がやっていることは知っているが、県内にいる外国人やインバウンドの方は鯖江のまちづくり、ものづくりについてあまり知らないと思う。</li> <li>誰もが住み続けたいと思える鯖江をつくっていくために、もうちょっと国際色を加えていけたらなという思いで意見をさせていただきたい。</li> </ul>
委員 1 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの回答率が50%と低いことについて、どんな内容だろうとみると紙の多さと文字の量で時間かかるなとか、難しそうだなとか、と感じてやめる人が多いのではないと思う。将来的には紙ではないアンケート一本になると良い。</li> </ul>
委員 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内の若い方が県外に流出する、都会に出て行って戻ってこられないということ非常に問題視しており、就業人口の減少というのは大きな課題であり、喫緊の課題だと認識している。こういった会議を通じて、より若い方が鯖江で働きたい、生活したい、住み続けていきたい、そういうまちを築いていけるような計画が策定できるように努力していきたい。</li> </ul>
委員 2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの問11 幸福度についてお聞きしますという問が、現在あなたは幸せだと思いますかという漠然とした質問で何を得たいのか疑問に感じる。幸福度に私的なもの公的なものとあると思うが、私的な内容だとして、他の設問にどう関わりがあるのか。せめて、鯖江市に住むことについての幸福度を聞いた方が良い。</li> </ul>
会長 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な立場からの意見をいただき、またみなさん積極的に取り組んでいただき非常に心強く思う。限られた会議の回数であるが、何卒今後もご協力いただきたい。特に総合戦略の知名度については、みんながテレビを見ている、新聞を読んでいる</li> </ul>

	<p>る時代ではなくなっているので、それを役所の方だけに周知して欲しいと言ったって非常に難しい。それを我々ここにいるメンバーが周りの人たちに存在を知らせるなどの努力もしつつ、もっとどうしたら良いかについてご意見をいただけると良い。将来にわたって鯖江市が発展し続けられるようにみなさんの思いを勘案した総合戦略、将来ビジョンを今後みなさんと一緒に策定に向けて努力していきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。</p>
--	--

## 6. 閉会

( 以 上 )